

ザ・ウォールⅡ（耐震型）

国土交通省大臣認定擁壁

防火水槽

宅造擁壁

建築

カルバート

道路側溝

新材料

台車運搬

横引き

推進

沈埋

地盤改良



特長

ザ・ウォールⅡ（耐震型）は、個人の財産である宅地を安心安全に構築できる宅地用L型擁壁で、大規模地震動の水平震度 $kh=0.25$ に対応しています。
また、宅地用認定擁壁の中で唯一壁面を垂直に設置することができるため、最大限、土地の有効利用が可能です。

- ① ザ・ウォールⅡ（耐震型）は、最新の高い耐震化仕様にバージョンアップしています。
- ② 国土交通大臣認定擁壁では全国でトップシェアです。
- ③ 国土交通大臣認定（宅地造成及び特定盛土等規制法施行令）を取得しているため、認定条件内であれば設計・計算等の手間が不要で、計画から認可までの期間を短縮でき、手続きも簡素化できます。
- ④ 宅地造成及び特定盛土等規制法施行令に規定されている大規模地震動に対応しています。
- ⑤ 直線部及びコーナー部製品共に、大地震対応の耐震設計を考慮しています。
- ⑥ 前面が垂直なので、敷地境界線まで土地を最大限有効に使用できます。
- ⑦ コーナー部は $90^\circ \leq \theta < 180^\circ$ の任意の角度で、一体で製造できます。
- ⑧ 認定条件の範囲で擁壁の天端にフェンスを取り付けることが可能です。
- ⑨ 前面に表面化粧を施すことができます。（厚さ50mmまで。）
- ⑩ 直線部製品は、擁壁長を1.0mまで、短縮することができます。
- ⑪ コーナー部製品は、擁壁高さや角度に応じて擁壁長の短縮が可能であり、施工性の向上を図ることができます。「コーナー部製品の擁壁長Lの調整範囲」を参照してください。

● ザ・ウォールⅡ（耐震型）の規格

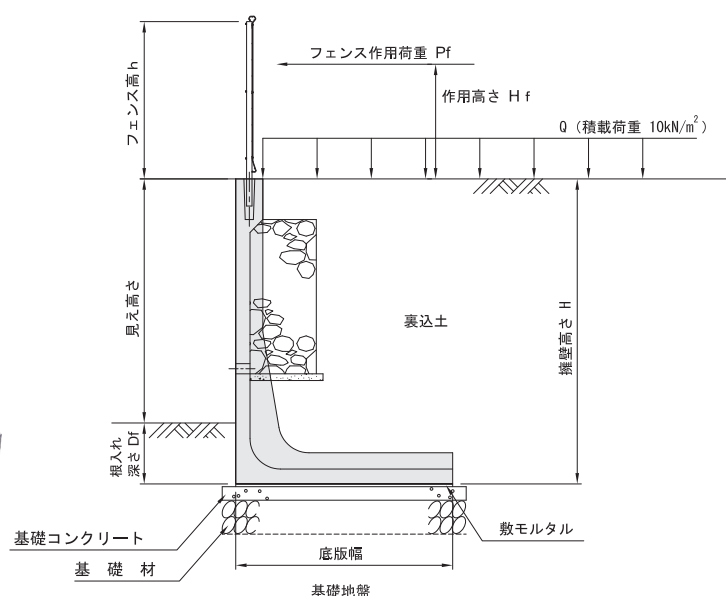
規格	設計水平震度	地震レベル
A規格	$kh = 0.225$	大地震
B規格	$kh = 0.250$	大地震
C規格	$kh = 0.200$	中地震

● 設計条件

項目		長期	短期	
		常時	フェンス荷重時	大地震時
地表面の勾配		LEVEL		
積載荷重（積雪荷重）		Q=10.0kN/m ² （積雪荷重を含む）		
裏込土の内部摩擦角		φ=30°以上 または φ=25°以上30°未満		
裏込土の単位体積重量		γ _t =16～19kN/m ³		
基礎地盤の内部摩擦角		φ=30°以上 または φ=25°以上30°未満		
滑動摩擦係数		μ≤0.6の場合 μ=tanφ μ>0.6の場合 μ=0.6 φ=30°の場合 μ=0.577 φ=25°の場合 μ=0.466		
必要根入れ深さ Df 岩盤に設置する場合を除く		φ=30°以上 : Df=35cm以上かつ見え高さの15 / 100以上 φ=25°以上30°未満 : Df=45cm以上かつ見え高さの20 / 100以上		
安定計算用の壁面摩擦角（主動土圧）		δ=φ/2		δ=φ
安定計算用の壁面摩擦角（受働土圧）		—		δ=0
断面計算用の壁面摩擦角（主動土圧）		δ=φ/2		
地域係数 ※1		—	—	1.0
設計水平震度		—	—	kh=0.250
設計鉛直震度		—	—	kv=0
土圧の算定式		クーロン式	クーロン式	物部・岡部の式
コンクリートの単位体積重量		γ _c =24.0kN/m ³		
設置可能フェンス高		h=2.00m以下 ※2		
フェンス荷重		作用高さ Hf=1.10m 作用荷重 Pf=1.0kN/m 及び、建設省告示第1454号による風荷重		
荷重の組合せ	自重	○	○	○
	積載荷重	○	○	○
	常時主動土圧	○	○	—
	地震時主動土圧	—	—	○
	慣性力	—	—	○
	地震時受働土圧	—	—	○
	フェンス荷重	—	○	—

※1 建築基準法施行令第88条1項による地域係数

※2 見付率により異なります。



防火水槽

宅造擁壁

建築

カルバート

道路側溝

新材料

台車運搬

横引き

推進

沈埋

地盤改良

ザ・ウォールⅡ（耐震型）

● 土圧及び土圧の作用面

- 常時（長期） [主働土圧：Coulomb（クーロン）土圧式]
- フェンス荷重時（短期） [主働土圧：Coulomb（クーロン）土圧式]
- 大地震時（短期） [主働土圧（受働土圧）：物部・岡部の式]

荷重ケース	常時、フェンス荷重時	地震時
安定計算		
断面計算		

仮想背面（土圧の作用面）の位置及び壁面摩擦角 δ は左表による。

● 安全率

項目		長期	短期	
		常時	フェンス荷重時	大地震時
安定計算	地盤反力度	基礎地盤の長期許容応力度以下 (極限支持力度 1/3 以下)		基礎地盤の 極限支持力度以下
	転倒	1.5 以上	1.0 以上	
	滑動	1.5 以上	1.0 以上	
部材計算	モーメント M	1.0 以上	1.0 以上	
	せん断力 Q	1.0 以上	1.0 以上	
	付着	—	1.0 以上	
	ひび割れ	1.0 以上	—	

終局時部材計算		
終局	モーメント M	3.0 以上
	付着割裂	1.0 以上

● 部材計算許容応力度

(N/mm²)

コンクリート		長期	短期	終局
設計基準強度 Fc=30 Fc=40	圧縮	10.0	20.0	—
	せん断	0.79	1.185	—
	付着	1.70 [2.55]	2.55 [3.82]	—
	付着割裂	—	—	1.32

※ 付着欄の [] 外は上端筋、[] 内はその他の鉄筋を示す

(N/mm²)

鉄筋		長期	短期	終局
SD295 SD345	圧縮	195	295	—
	引張	195	295	395 (注)
	せん断補強	195	295	—

(注) (公社)全国宅地擁壁技術協会基準値

防火水槽

宅造擁壁

建築

カルバート

道路側溝

新材料

台車運搬

横引き

推進

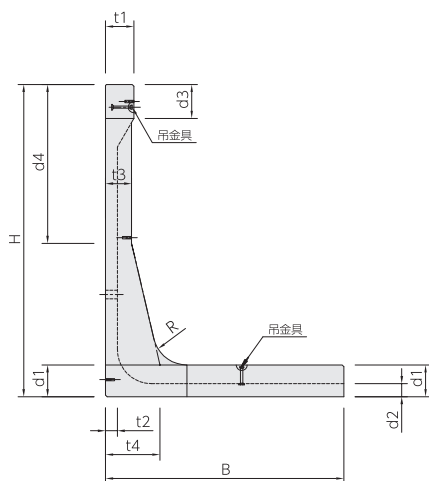
沈埋

地盤改良

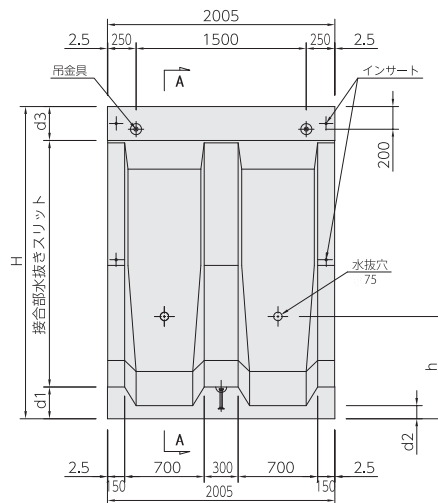
■ 標準製品

● 形状

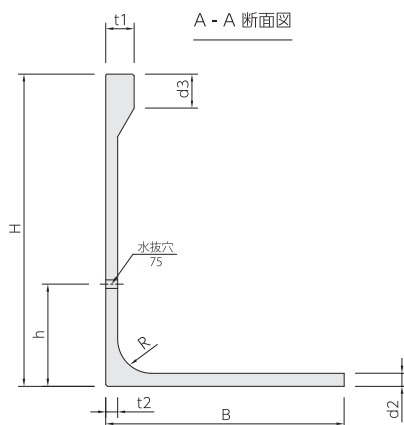
側面図



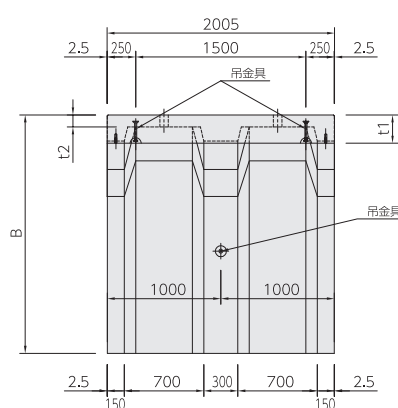
背面图



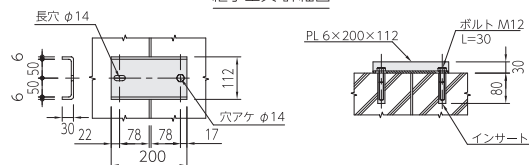
A - A 断面图



平面図



継手金具 詳細図



標準規格

(单位: mm)

呼び名	H	B	t1	t2	t3	t4	d1	d2	d3	d4	R	h	製品体積 (m ³)	参考質量 (kg)
H1000B	1000	750	150	110	110	150	160	110	300	440	150	550	0.427	1020
H1250B	1250	900	150	105	130	200	170	110	300	580	150	750	0.539	1290
H1500B	1500	1050	150	105	150	240	180	110	300	720	150	750	0.664	1590
H1750B	1750	1300	200	105	160	260	200	110	300	850	225	850	0.878	2110
H2000B	2000	1500	200	105	180	280	220	110	300	990	225	850	1.046	2510
H2250B	2250	1650	200	105	200	350	230	110	300	1130	225	850	1.215	2920
H2500B	2500	1850	250	105	210	400	250	110	300	1260	300	850	1.472	3530
H2750B	2750	2050	250	105	230	480	280	115	300	1400	300	900	1.725	4140
H3000B	3000	2200	250	110	250	550	300	120	300	1530	300	950	1.979	4750

※1 吊治具はメーカー指定のものを使用してください。
 ※2 規格外の高さを使用する場合は、直近上位の規格の擁壁高を準用できます。

防火水槽

宅造擁壁

建築

カルバート

道路側溝

新材料

台車運搬

横引き

推進

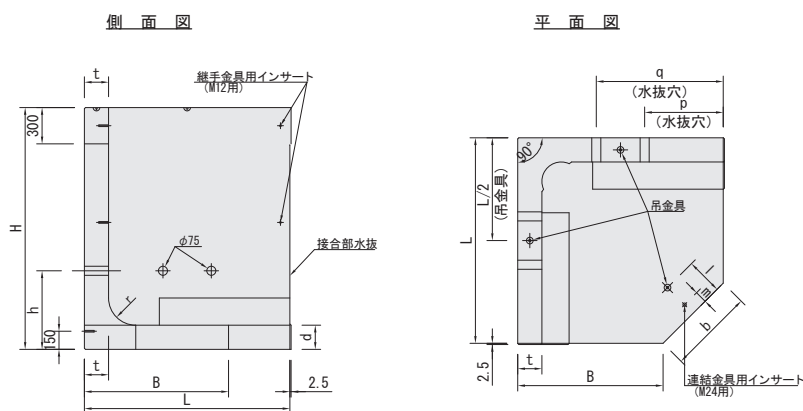
沈埋

地盤改良

ザ・ウォールⅡ(耐震型)

90°コーナー製品

形状



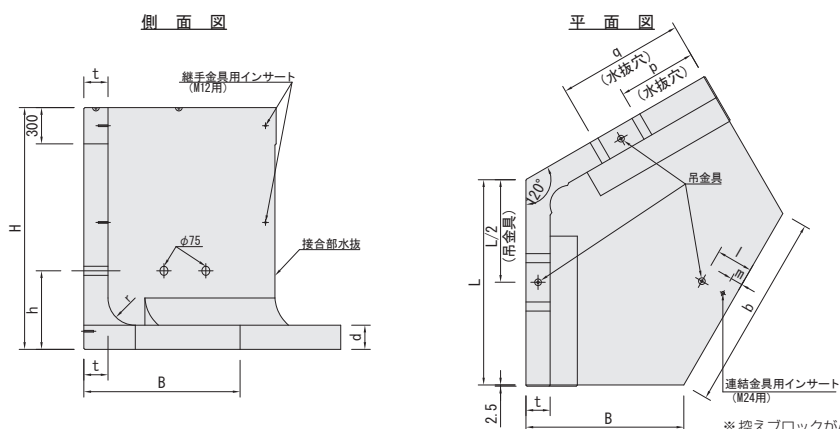
※ 控えブロックが必要な時のみ使用する

(単位: mm)

呼び名	H	L	B	t	d	h	p	q	r	l	m	b	製品体積 (m³)	参考質量 (kg)
HC1000B-90	1000	1500	750	150	150	550	750	—	150	150	—	1061	0.672	1610
HC1250B-90	1250	1500	900	150	150	750	750	—	150	150	—	849	0.796	1910
HC1500B-90	1500	1500	1050	150	150	750	750	—	150	150	—	636	0.916	2200
HC1750B-90	1750	1700	1300	200	200	850	850	—	225	300	—	566	1.586	3810
HC2000B-90	2000	1700	1450	200	200	850	850	—	225	300	—	353	1.757	4220
HC2250B-90	2250	1700	1650	200	200	850	650	1050	225	300	150	71	1.924	4620
HC2500B-90	2500	1900	1850	250	250	850	650	1250	300	300	—	71	2.959	7100
HC2750B-90	2750	2100	2050	250	250	900	650	1250	300	300	—	71	3.640	8740
HC3000B-90	3000	2250	2200	250	250	950	750	1250	300	300	200	71	4.263	10230

120°コーナー製品

形状



※ 控えブロックが必要な時のみ使用する

(単位: mm)

呼び名	H	L	B	t	d	h	p	q	r	l	m	b	製品体積 (m³)	参考質量 (kg)
HC1000B-120	1000	1500	750	150	150	550	750	—	150	150	—	1848	0.744	1790
HC1250B-120	1250	1500	900	150	150	750	750	—	150	150	—	1698	0.888	2130
HC1500B-120	1500	1500	1050	150	150	750	750	—	150	150	150	1548	1.030	2470
HC1750B-120	1750	1700	1300	200	200	850	850	—	225	300	150	1644	1.811	4350
HC2000B-120	2000	1700	1450	200	200	850	850	—	225	300	—	1494	2.016	4840
HC2250B-120	2250	1700	1650	200	200	850	650	1050	225	300	—	1294	2.229	5350
HC2500B-120	2500	1900	1850	250	250	850	650	1250	300	300	—	1441	3.445	8270
HC2750B-120	2750	2100	2050	250	250	900	650	1250	300	300	—	1587	4.230	10150
HC3000B-120	3000	2250	2200	250	250	950	750	1250	300	300	—	1697	4.940	11860

防火水槽

宅造擁壁

建築

カルバート

道路側溝

新材料

台車運搬

横引き

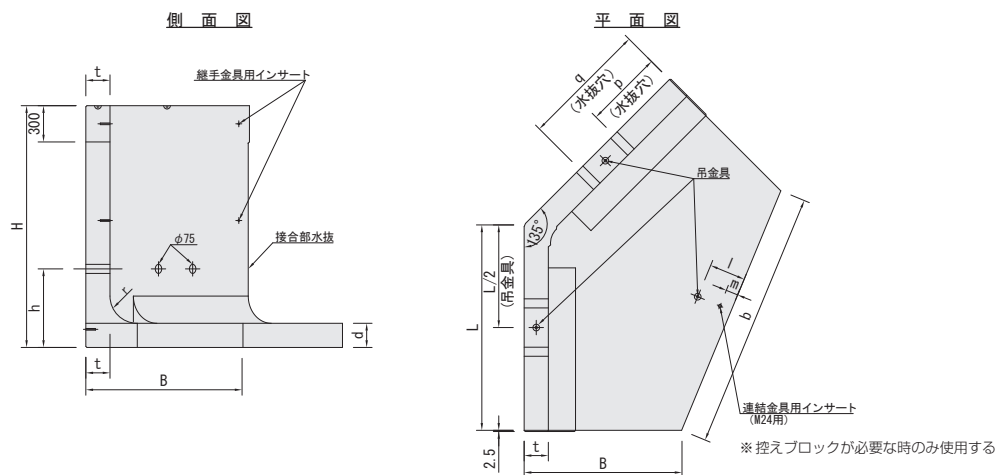
推進

沈埋

地盤改良

135°コーナー製品

● 形状

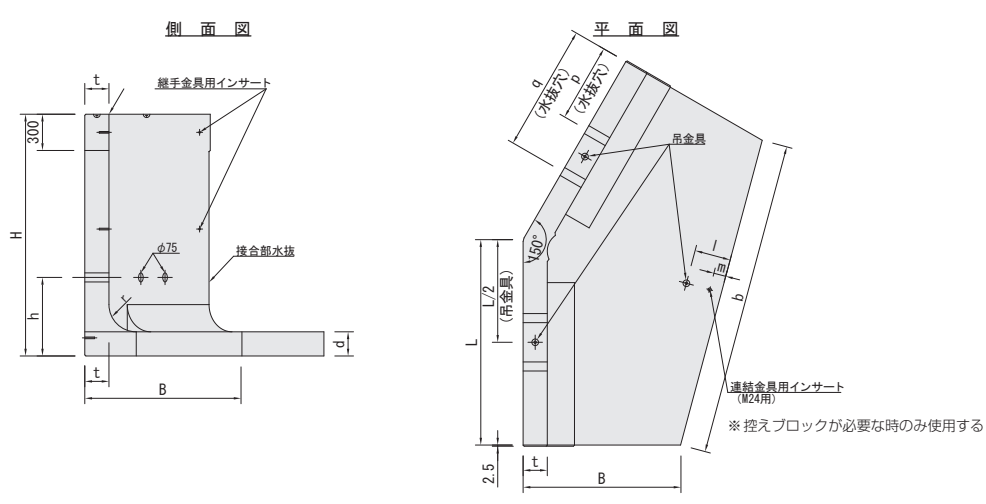


(単位: mm)

呼び名	H	L	B	t	d	h	p	q	r	l	m	b	製品体積 (m³)	参考質量 (kg)
HC1000B-135	1000	1500	750	150	150	550	750	—	150	150	—	2198	0.762	1830
HC1250B-135	1250	1500	900	150	150	750	750	—	150	150	150	2083	0.916	2200
HC1500B-135	1500	1500	1050	150	150	750	750	—	150	150	150	1968	1.069	2570
HC1750B-135	1750	1700	1300	200	200	850	850	—	225	300	—	2146	1.892	4540
HC2000B-135	2000	1700	1450	200	200	850	850	—	225	300	—	2031	2.116	5080
HC2250B-135	2250	1700	1650	200	200	850	650	1050	225	300	150	1878	2.354	5650
HC2500B-135	2500	1900	1850	250	250	850	650	1250	300	300	150	2095	3.645	8750
HC2750B-135	2750	2100	2050	250	250	900	650	1250	300	300	150	2311	4.473	10730
HC3000B-135	3000	2250	2200	250	250	950	750	1250	300	300	200	2474	5.217	12520

150°コーナー製品

● 形状



(単位: mm)

呼び名	H	L	B	t	d	h	p	q	r	l	m	b	製品体積 (m³)	参考質量 (kg)
HC1000B-150	1000	1500	750	150	150	550	750	—	150	150	—	2510	0.765	1840
HC1250B-150	1250	1500	900	150	150	750	750	—	150	150	—	2432	0.929	2230
HC1500B-150	1500	1500	1050	150	150	750	750	—	150	150	—	2354	1.092	2620
HC1750B-150	1750	1700	1300	200	200	850	850	—	225	300	—	2611	1.946	4670
HC2000B-150	2000	1700	1450	200	200	850	850	—	225	300	—	2534	2.188	5250
HC2250B-150	2250	1700	1650	200	200	850	650	1050	225	300	150	2430	2.456	5880
HC2500B-150	2500	1900	1850	250	250	850	650	1250	300	300	150	2713	3.799	9120
HC2750B-150	2750	2100	2050	250	250	900	650	1250	300	300	150	2996	4.660	11180
HC3000B-150	3000	2250	2200	250	250	950	750	1250	300	300	200	3208	5.432	13040

防火水槽

宅造擁壁

建築

カルバート

道路側溝

新材料

台車運搬

横引き

推進

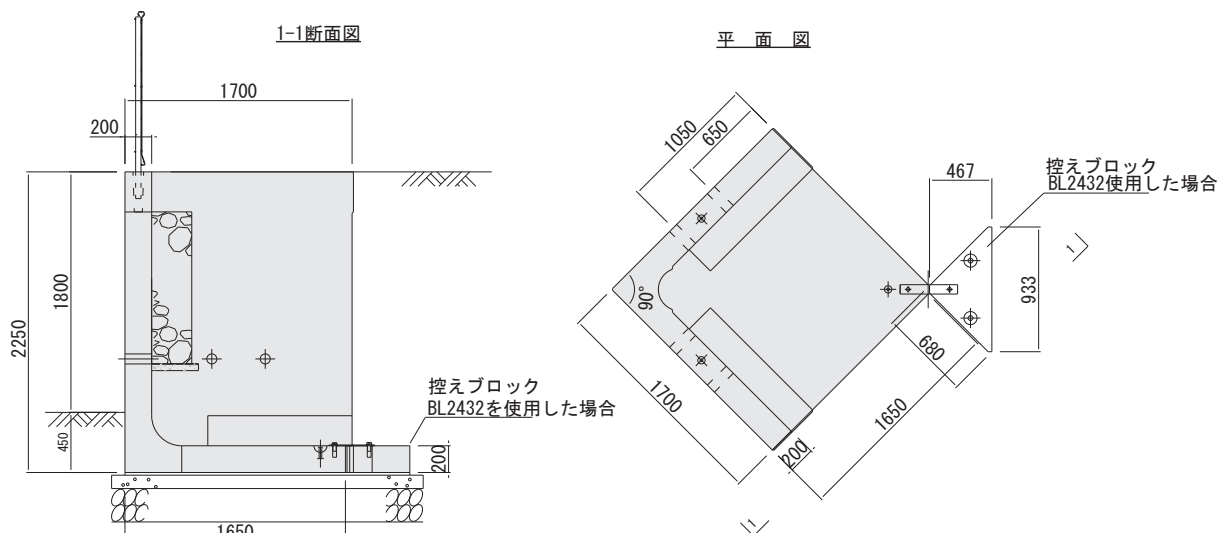
沈埋

地盤改良

ザ・ウォールⅡ(耐震型)

● コーナー部 構造図（標準の例）

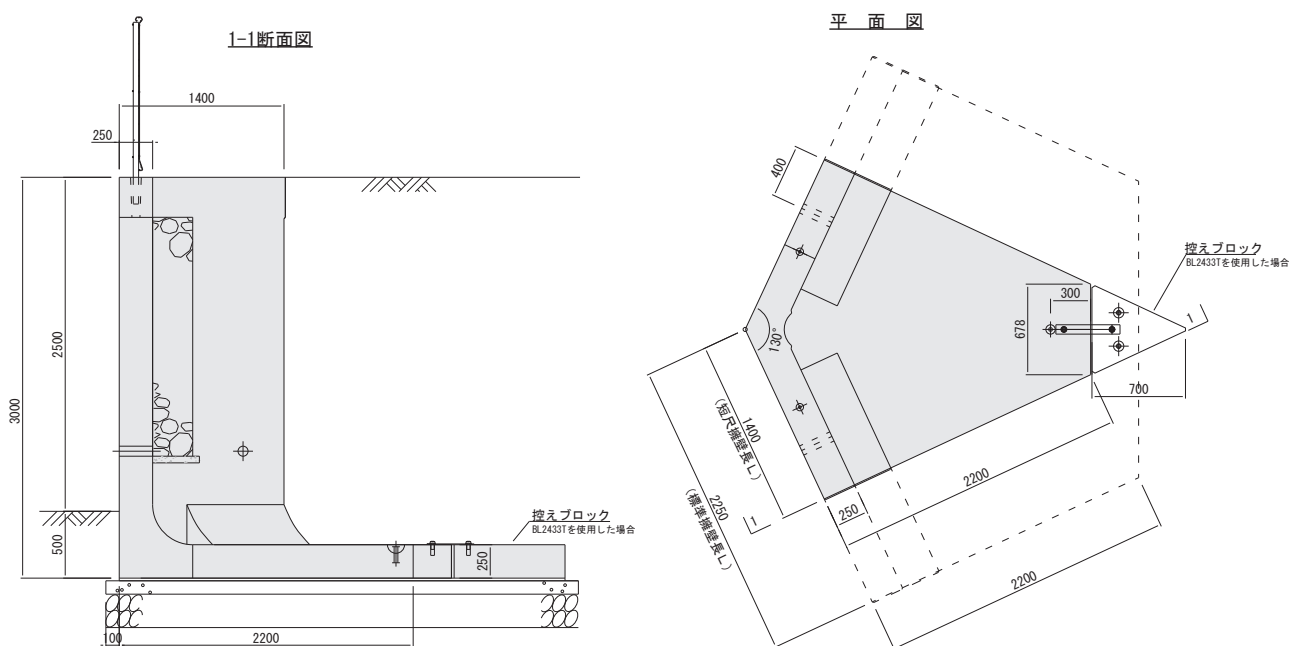
ザ・ウォールⅡ（耐震型） B規格 コーナー部 標準構造図
 コーナー部使用製品 呼び名：HC2250B-90
 控えブロック使用製品 呼び名：BL2432



※控えブロックは、「控えブロック使用条件表」に示す規格以上の大きさの呼び名を使用することができます。

● コーナー部 構造図（擁壁長の短縮の例）

ザ・ウォールⅡ（耐震型） B規格 コーナー部 HC3000B-130-T1.40 短尺構造図
 コーナー角度：130°
 控えブロック：BL2433Tを使用した場合



※点線は、標準のコーナー製品形状を示す。
 ※控えブロックは、「控えブロック使用条件表」に示す規格以上の大きさの呼び名を使用することができます。

防火水槽

宅造擁壁

建築

カルバート

道路側溝

新材料

台車運搬

横引き

推進

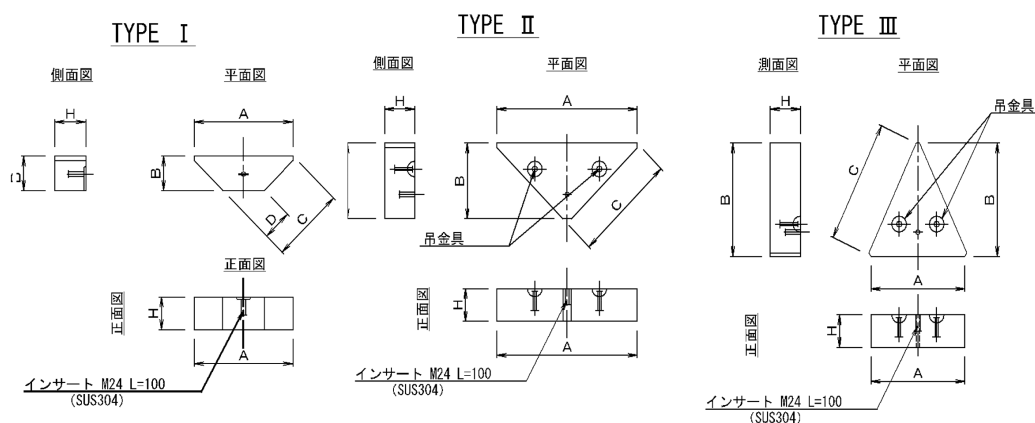
沈埋

地盤改良

控えブロック

コーナー擁壁の滑動防止のために取り付ける部材です。
土の内部摩擦角 ϕ が 30° 以上の場合は必要ありません。
また、条件によって必要ない場合があります。(控えブロック使用条件表 参照)

● 控えブロック形状図



(単位：mm)

	控えブロック 呼び名	A	B	C	H	重量 (kg)	面積 (m^2)
TYPE I	BL1011	636	212	260	150	37	0.101
	BL1012	636	212	260	200	49	0.101
	BL1013	636	212	260	250	61	0.101
TYPE II	BL2432	933	467	620	200	117	0.243
	BL2433	933	467	620	250	146	0.243
TYPE III	BL1011T	552	310	374	150	37	0.101
	BL1012T	552	310	374	200	49	0.101
	BL1013T	552	310	374	250	61	0.101
	BL2431T	625	700	748	150	88	0.243
	BL2432T	625	700	748	200	117	0.243
	BL2433T	625	700	748	250	146	0.243

● 控えブロック使用条件 (土の内部摩擦角 $\phi = 25^\circ$ 以上 30° 未満)

呼び名	コーナー角度 θ	擁壁長 L (mm)					
		$900 \leq L < 1000$	$1000 \leq L < 1100$	$1100 \leq L < 1200$	$1400 \leq L < 1500$	$1500 \leq L < 1600$	標準擁壁長 L
HC1250B	$120^\circ \leq \theta < 125^\circ$	BL1101	—	—	—	—	—
HC1500B	$120^\circ \leq \theta < 130^\circ$	BL2431	BL1011	—	—	—	—
	$125^\circ \leq \theta < 135^\circ$	BL1011	BL1011	—	—	—	—
	$135^\circ \leq \theta < 150^\circ$	BL1011	—	—	—	—	—
HC2250B	$90^\circ \leq \theta < 100^\circ$	擁壁長適用外	—	—	—	—	BL1012
HC2500B	$150^\circ \leq \theta < 155^\circ$		BL1013	—	—	—	—
HC2750B	$130^\circ \leq \theta < 135^\circ$		—	—	BL1013	—	—
HC3000B	$90^\circ \leq \theta < 95^\circ$		—	—	—	—	BL1013
	$130^\circ \leq \theta < 135^\circ$		—	—	BL2433	BL1013	—
	$135^\circ \leq \theta < 140^\circ$		—	—	BL1003	—	—
	$150^\circ \leq \theta < 155^\circ$		BL2433	BL1013	—	—	—
	$155^\circ \leq \theta < 160^\circ$		BL1013	—	—	—	—

※1 控えブロックは、必要な面積以上の呼び名を使用しますので、上表の呼び名と異なる場合があります。

※2 上表は規格上の標準の設定であり、コーナー角度 (θ) と擁壁長 (L) を使用する製品の設計値に基づき、再計算を行うことにより、控えブロックが不要な場合があります。

※3 標準擁壁長は、コーナー部の形状寸法表を参照してください。

防火水槽

宅造擁壁

建築

カルバート

道路側溝

新材料

台車運搬

横引き

推進

沈埋

地盤改良

ザ・ウォールⅡ（耐震型）

● コーナー部品の擁壁長Lの調整範囲

(単位：mm)

呼び名	H 高さ	B 底版長	t 部材厚	標準擁壁長 L	L調整範囲			
					$90 < \theta < 120$	$120 \leq \theta < 130$	$130 \leq \theta < 150$	$150 \leq \theta < 180$
HC1000B	1000	750	150	1500	1300～1500	900～1500		
HC1250B	1250	900						
HC1500B	1500	1050						
HC1750B	1750	1300	200	1700	1700	1400～1700		1000～1700
HC2000B	2000	1450						
HC2250B	2250	1650						
HC2500B	2500	1850	250	1900	1900		1400～1900	1000～1900
HC2750B	2750	2050		2100	2100		1400～2100	1000～2100
HC3000B	3000	2200		2250	2250		1400～2250	1000～2250

※ 上表の網掛け部が、擁壁長Lの調整範囲です。

● 基礎地盤に必要な長期許容応力度（必要地耐力）

(単位：kN/m²)

呼び名	基礎地盤の内部摩擦角 ϕ							
	$\phi = 30^\circ$ 以上				$\phi = 25^\circ$ 以上 30° 未満			
	直線部	コーナー部の角度 (°)			直線部	コーナー部の角度 (°)		
		$90 \leq \theta < 120$	$120 \leq \theta < 130$	$130 \leq \theta < 180$		$90 \leq \theta < 120$	$120 \leq \theta < 130$	$130 \leq \theta < 180$
HC1000B	70	60	60	70	70	70	70	70
HC1250B	80	80	80	80	80	90	90	90
HC1500B	90	100	100	100	100	110	110	110
HC1750B	90	90	100	100	100	100	100	100
HC2000B	100	110	110	110	110	130	120	120
HC2250B	110	140	130	130	120	160	140	140
HC2500B	120	150	130	130	130	160	140	150
HC2750B	130	160	140	140	140	180	150	160
HC3000B	140	170	150	160	150	200	160	180

※1 直線部、コーナー部ともに、標準の擁壁長と短縮した擁壁長を考慮しています。

※2 コーナー部の太線枠内が、擁壁長の短縮可能な範囲に該当します。

※3 化粧を施す場合は、上記表の値に10kN/m²を加算してください。※4 フェンスを設置する場合は、上記表の値に5kN/m²を加算してください。

防火水槽

宅造擁壁

建築

カルバート

道路側溝

新材料

台車運搬

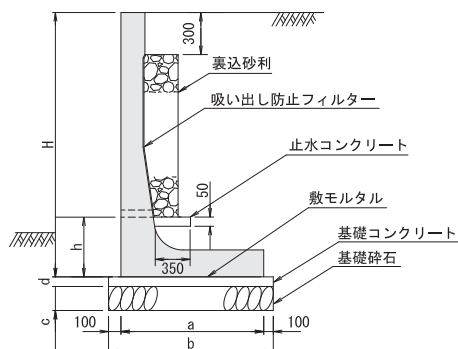
横引き

推進

沈埋

地盤改良

● 標準施工例



● 寸法表

(単位: mm)

呼び名	H	a	b	c	d	h
H1000B	1000	750	950	200	50以上	550
H1250B	1250	900	1100	200	50以上	750
H1500B	1500	1050	1250	200	50以上	750
H1750B	1750	1300	1500	200	50以上	850
H2000B	2000	1500	1700	250	100以上	850
H2250B	2250	1650	1850	250	100以上	850
H2500B	2500	1850	2050	250	100以上	850
H2750B	2750	2050	2250	250	100以上	900
H3000B	3000	2200	2400	250	100以上	950

● 使用材料参考表

(10m当り)

名称	単位	H=1000	H=1250	H=1500	H=1750	H=2000	H=2250	H=2500	H=2750	H=3000
製品質量 (L=2000)	kg	1020	1290	1590	2110	2510	2920	3530	4140	4750
裏込砕石	m ³	0.6	0.8	1.7	2.2	3.3	4.7	6.1	7.7	9.4
吸出し防止フィルター	m ²	1.1	1.3	1.6	1.9	2.1	2.3	2.6	2.8	3.1
止水コンクリート	m ³	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3
基礎コンクリート	m ³	0.5	0.6	0.6	0.8	1.7	1.9	1.9	2.3	2.3
基礎型枠	m ²	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
基礎砕石	m ²	9.5	11.0	12.5	15.0	17.0	18.5	20.5	22.5	24.0

築造仕様

① 土質条件を確認してください

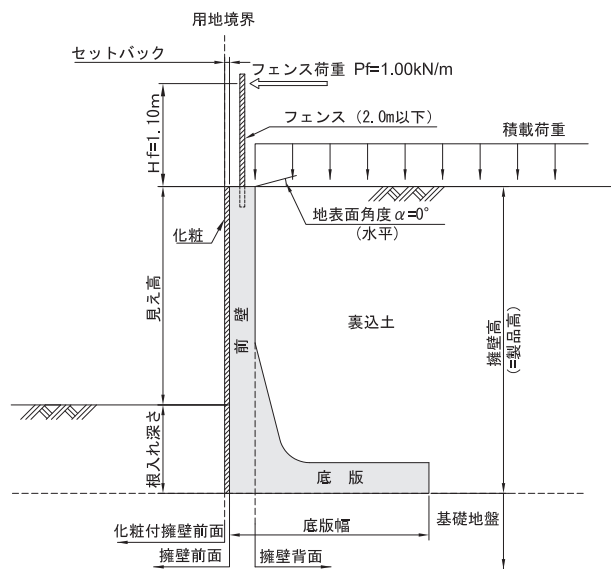
- ・ ザ・ウォールⅡ（耐震型）の構造にあたっては、擁壁背面および基礎地盤の土質条件により本擁壁の適用の可否や施工方法等が異なるので、施工場所の土質を十分把握して、認定条件に適合したものであることを確認してください。

② 必要根入れ深さ

- ・ 宅地造成及び特定盛土等規制法施行令より、擁壁を岩盤に接着して設置する場合を除き、次の通りとしてください。

基礎地盤の土質 (土の内部摩擦角)	必要根入れ深さ
$\phi=30^\circ$ 以上	35cm以上かつ 擁壁高さの 15/100 以上
$\phi=25^\circ$ 以上 30° 未満	45cm以上かつ 擁壁高さの 20/100 以上

※「擁壁の高さ」は、「見え高」を示す。



③ セットバック

- ・ セットバックとは、前壁を用地境界より下げることです。セットバックの幅は、前壁に化粧模様を付ける、前壁のたわみ等を考慮する場合に、協議の上決定してください。

防火水槽

宅造擁壁

建築

カルバート

道路側溝

新材料

台車運搬

横引き

推進

沈埋

地盤改良

ザ・ウォールⅡ(耐震型)

● 土の内部摩擦角 $\phi = 30^\circ$ 以上

(単位: mm)

擁壁高さ H	根入れ深さ Df	見え高
1000	350	650
1250	350	900
1500	350	1150
1750	350	1400
2000	350	1650
2250	350	1900
2500	350	2150
2750	360	2390
3000	400	2600

● 土の内部摩擦角 $\phi = 25^\circ$ 以上 30° 未満

(単位: mm)

擁壁高さ H	根入れ深さ Df	見え高
1000	450	550
1250	450	800
1500	450	1050
1750	450	1300
2000	450	1550
2250	450	1800
2500	450	2050
2750	460	2290
3000	500	2500

④ 基礎及び敷モルタル

◇基礎

- 標準施工例の通りとします。ただし、基礎地盤の許容応力度が不足していたり、部分的に基礎地盤が悪い場合には、許容応力度を確保できるように置換え工法、地盤改良、杭基礎等の基礎構造を適切に選定してください。

◇敷モルタル

- 基礎コンクリート上面と擁壁底面との間に間隙が生じないように、厚さ2cm程度の空練りモルタルを均等に敷き均してください。最終的に、敷きモルタルが密に充填されているかの確認をしてください。

⑤ 埋戻し等

- 埋戻し土は、各層毎に均一に所定の密度となるように締め固めし、機械の走行または偏心荷重により、擁壁が損傷を受けないように注意してください。また、雨水、地表面水の排水には十分配慮し、埋戻し土の沈下を見込んだ余盛以上の土羽を設けないでください。
- 高さの規格が異なる製品間やコーナー部と直線部間においてプレートによる連結ができない箇所が生じることがあります。この場合、埋戻し時の転圧等により製品のズレが生じないように十分注意してください。

⑥ フィルター材及び透水層

◇フィルター材

- 擁壁背面の土砂が、目地および水抜穴から流出することを防止するために、耐食性の吸出し防止フィルターを各水抜穴の周辺部分と排水用目地部分に設置してください。

◇透水層

- 前壁の背面には砂利等を全面に施した透水層を設置してください。また、浸透水を有効に排水するために、透水層の最下端部分に、止水コンクリートを設置してください。
- 透水層は、砂利等の材料を用いてフィルターが剥れ落ちないように、擁壁の背面に慎重に施工してください。
- 透水層の厚さは、原則として30cm以上としてください。
- 透水層として、砂利等の代わりに透水マットを使用することもできます。この場合、建設省経民発第22号、建設省住指発第138号による「擁壁用透水マット技術マニュアル」((公社)全国宅地擁壁技術協会)に準拠してください。

⑦ フェンス設置

- 擁壁の天端に直接フェンスを取り付けることができます。地域により設置可能なフェンス高さ、見付率が異なります。
- 「地域による設置可能なフェンスの高さ、見付面積率」を参照してください。
- フェンスの支柱間隔が2m以下、フェンスにかかる風圧力が1kN/m以下、フェンス自重が50kg/m以下としてください。
- フェンス支柱の中心は擁壁天端厚中心または前壁前面から75mm、フェンス穴加工範囲は製品両端から165mm以内の部分を除く範囲にフェンスを設置してください。
- フェンス支柱箇所の現場加工は、認定範囲外となります。

⑧ コーナー部の対応

- 隅角部の施工は認定範囲内のコーナー製品が使用可能な箇所については、コーナー製品を使用し、それ以外の箇所は、「宅地防災マニュアルの解説・解説編Ⅰ」に従って現場打ちコンクリート構造とってください。

防火水槽

宅造擁壁

建築

カルバート

道路側溝

新材料

台車運搬

横引き

推進

沈埋

地盤改良

フェンスの地域による設置可能なフェンス高さ、見付面積率

● 設置可能なフェンス高

(m)

見付率	各地域の風速								
	30m/s	32m/s	34m/s	36m/s	38m/s	40m/s	42m/s	44m/s	46m/s
20%以下	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
25%以下	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	1.80
30%以下	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	1.80	1.50	1.50
35%以下	2.00	2.00	2.00	2.00	1.80	1.50	1.50	1.20	1.20
40%以下	2.00	2.00	2.00	1.80	1.50	1.50	1.20	1.20	1.10
45%以下	2.00	2.00	1.80	1.50	1.50	1.20	1.20	1.10	1.00
50%以下	2.00	1.80	1.50	1.50	1.20	1.20	1.10	1.00	0.90
55%以下	2.00	1.50	1.50	1.20	1.20	1.10	1.00	0.90	0.80
60%以下	1.80	1.50	1.20	1.20	1.10	1.00	0.90	0.80	0.60
65%以下	1.50	1.20	1.20	1.10	1.00	0.90	0.80	0.60	0.60
70%以下	1.50	1.20	1.20	1.00	0.90	0.80	0.80	0.60	0.60
75%以下	1.20	1.20	1.10	1.00	0.90	0.80	0.60	0.60	0.60
80%以下	1.20	1.20	1.00	0.90	0.80	0.60	0.60	0.60	—
85%以下	1.20	1.10	1.00	0.90	0.80	0.60	0.60	0.60	—
90%以下	1.20	1.00	0.90	0.80	0.60	0.60	0.60	—	—
95%以下	1.10	1.00	0.90	0.80	0.60	0.60	—	—	—
100%以下	1.10	0.90	0.80	0.60	0.60	0.60	—	—	—

※1 上表の「—」は国土交通省大臣認定の条件においては使用不可となります。
※2 平成12年5月31日建設省告示第1454号に示された地域別の風速によります。
設置する地域・自治体の風速条件をご確認し、それに基づいてください。

防火水槽

宅造擁壁

建築

カルバート

道路側溝

新材料

台車運搬

横引き

推進

沈埋

地盤改良

ザ・ウォールⅡ（耐震型）

中地震・大地震の区分

防火水槽

宅造擁壁

建築

カルバート

道路側溝

新材料

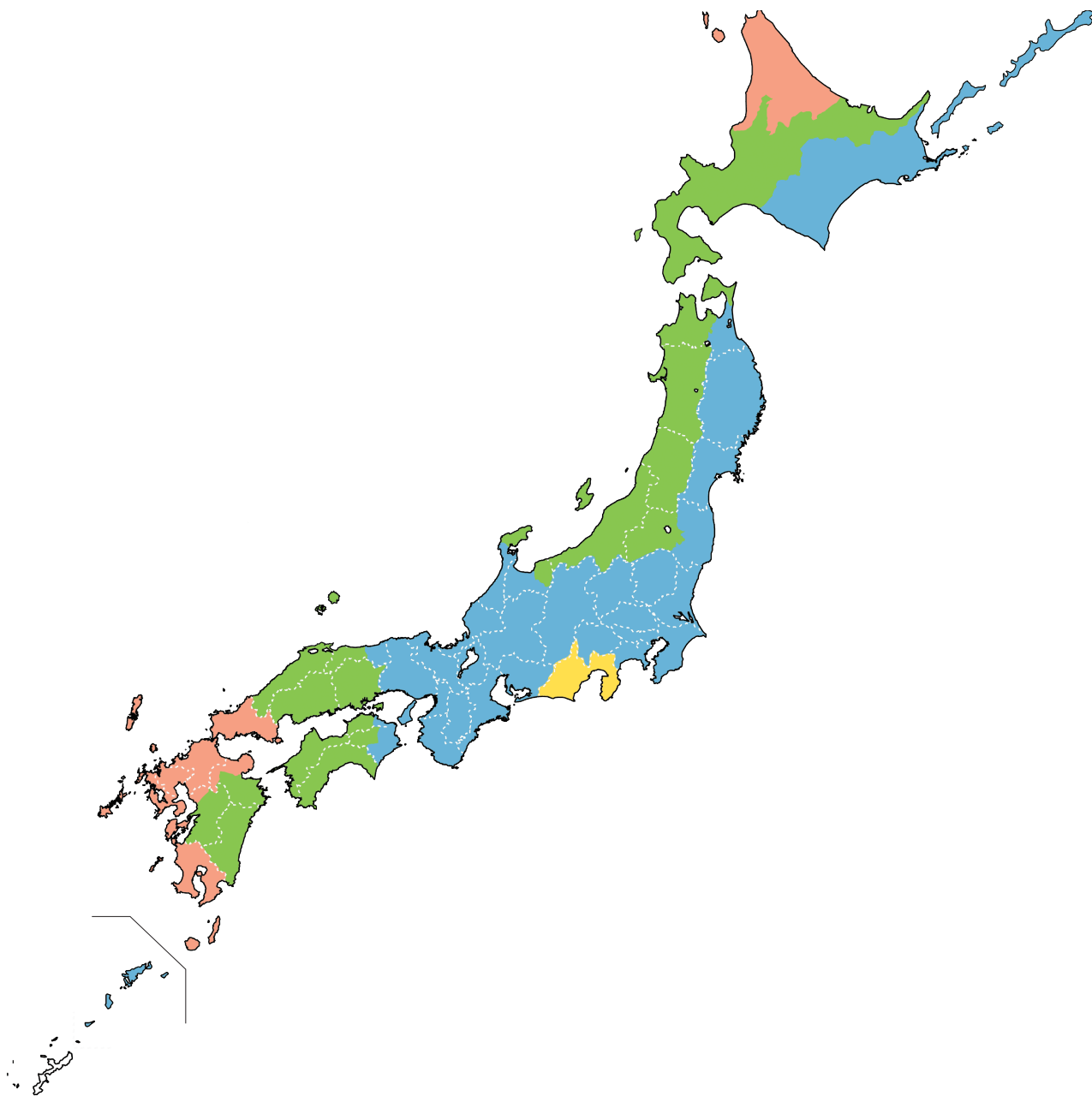
台車運搬

横引き

推進

沈埋

地盤改良



※ 地図の色は地域別補正係数Z（昭和55年建設省告示第1793号第1）および設計水平震度を意味しています。（参考）

中地震・大地震の区分 「宅地防災マニュアルの解説」より引用

●中地震（中規模地震動）

標準設計水平震度 $k_0=0.20$

供用期間中に1～2度程度発生する確率を持つ一般的な地震動です。一般に震度5程度の地震を想定しています。

●大地震（大規模地震動）

標準設計水平震度 $k_0=0.25$

発生確率は低い直下またはプレート境界で発生する地震を想定した高レベルの地震動です。一般に震度6～7程度を想定しています。

●設計水平震度

標準設計水平震度 $k_0=0.25$ に地域別補正係数Zを乗じて求めます。

地域別補正係数は、建築基準法施行令第88条1項に規定するZの値

標準設計水平震度	地域別補正係数Z	設計水平震度kh	ザ・ウォールⅡ（耐震型）適用範囲
$k_0=0.25$	1.2※	0.300	—
	1.0	0.250	0.250
	0.9	0.225	0.225
	0.8	0.200	0.200
	0.7	0.175	0.200

※静岡県の地震地域別補正係数は、建設省告示では1.0ですが、静岡県建築構造設計指針による静岡県地震地域係数によって1.2と定められています。

施工事例



防火水槽

宅造擁壁

建築

カルバート

道路側溝

新材料

台車運搬

横引き

推進

沈埋

地盤改良